

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

期待を超える金融サービスで、モビリティ社会の未来とお客様の笑顔を創造

② 中長期の経営戦略

1. デジタル化への取組

デジタル技術及びデータ活用を通じてビジネスモデル、商品・サービス、働き方、業務プロセスを全面的に変革

2. カーボンニュートラル推進

トヨタグループの一員として、カーボンニュートラルを取組の柱に掲げて経営を推進

3. 販売金融から金融サービスへの変革

販売金融会社からモビリティ金融サービス会社への変革を通じてお客様志向を徹底

③ 対処すべき課題

① 事業環境変化への迅速な対応

- ・電動化、コネクティッド化、自動運転技術、OTA機能更新などへの対応
- ・半導体メーカーやITプラットフォームとの企業間連携の強化
- ・エンベデッド・ファイナンス等の新しい金融サービス形態への対応

② デジタル・トランスフォーメーション

- ・デジタル技術とデータ活用による事業構造の確立
- ・お客様が求めるトヨタならではの価値の継続的な提供

③ リスク管理体制の強化

- ・情報セキュリティ対策の強化
- ・重要業務の継続性確保
- ・安定的な資金調達を含むリスク管理体制の整備・高度化

面接で使えるポイント

- ・VISION2030実現に向け、デジタル化とカーボンニュートラルの両軸で企業変革を推進している点
- ・販売金融会社からモビリティ金融サービス会社へと事業領域を拡大し、トヨタブランドの信頼を活かした経営戦略
- ・エンベデッド・ファイナンスなど業界横断的な協業を通じて、新しい金融サービス形態に対応する姿勢

EDINETコード E05031

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

当社、親会社(トヨタ自動車株式会社及びトヨタファイナンシャルサービス株式会社)

主力事業・セグメント

・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・営業利益率90.5%と高い収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
438億円営業利益率
90.5%財務健康度
32点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 40.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収

－（未開示）

平均年齢

－（未開示）

平均勤続

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

